

令和4年度 第30回倉敷ケーブルテレビ番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和5年3月15日(水)

2 開催場所 株式会社倉敷ケーブルテレビ 1F セミナールーム

3 委員出席

委員総数 10名

出席委員数 9名

出席委員名

伊東香織 倉敷市長 代理/安藤俊晴 暮らしき情報発信課課長

柴田義朗 玉野市長 書面代理/秘書広報課

片岡聡一 総社市長 書面代理/難波孝次 市政情報課長

井上正義 倉敷市教育委員会教育長 書面代理/教育企画総務課

井上峰一 倉敷商工会議所会頭 代理/坂本万明 専務理事

尾崎 茂 児島商工会議所会頭 代理/尾崎淳子 事務局次長(兼)総務課長

山根一人 玉野商工会議所会頭 書面代理/高島和成 指導課長

清水 男 総社商工会議所会頭

土倉佳奈 倉敷青年会議所理事長

欠席委員名

坪本光俊 児島青年会議所理事長

放送事業者側出席者名

劔持成利 代表取締役社長

伊藤 享 常務取締役

武居賢次郎 常務取締役

堀川久志 放送制作部長

榊原 徹 営業部長

山本健太郎 技術部長

小川洋子 総務部長

樋上康宏 カスタマーセンター長

事務局

福島孝治 放送制作部メディア編成制作課課長

水野雄介 放送制作部広告企画営業課長

4 議 題

<番組審議>

▽「水島臨海鉄道 甦れ！国鉄車両」

※資料1【DVD1枚】

<報 告>

▽2022（R4）年度自主制作番組 実績

※資料2【放送概要】

5 審議内容

◆「水島臨海鉄道 甦れ！国鉄車両」

【伊東香織 倉敷市長】代理／安藤俊晴 くらしき情報発信課課長

過去の映像を使うなどケーブルテレビらしい作りの番組で、リンテツの魅力を全国に伝えることができた。

新聞、民放等取材規模が縮小する中 KCT は地域の問題をきめ細かく取り上げ放送して行ってもらいたい。

【井上峰一 倉敷商工会議所会頭】代理／坂本万明 専務理事

今年度のシチズンオブザイヤーを受賞した水島臨海鉄道、大いに地域活性化に繋がる番組でした。又 YouTube 等 SNS を多用して KCT の加入者以外の市民にも広く情報を伝えるまちづくりの道具としての役割を果たしている。

【尾崎 茂 児島商工会議所会頭】

クラウドファンディングを多用するなど全国の鉄道ファンから支援を募り、リンテツを蘇らせるストーリーは職人達の仕事をやり遂げた達成感がよく伝わりました。

児島には廃線となった下津井鉄道があり、これを地域活性化に繋ぐことが出来ないか今一度検討していきたい。

【清水 男 総社商工会議所会頭】

後世に残せる番組となったと思う。総社には吉備線があり、これまで周年事業をした際、全国に鉄道ファンがいることがよく分かった。水島臨海鉄道も全国に発信してほしい。

【土倉佳奈 倉敷青年会議所理事長】

倉敷にこれだけ魅力的なものがあつた事を知ることが出来、地域再発見した。

新しいものに目が向く傾向にあるが、今に伝える古いものにも地域の良さが有ることが分かった、倉敷青年会議所活動を通じ、若い人たちにも伝えて行きたいと思う。

【柴田義朗 玉野市長】代理書面／秘書広報課

車両復活に向けて、各作業に携わる人の顔や思いが伝わる内容で、実物を見なくとも愛着が感じられた。

地元の幅広い世代へインタビューを行っており、地域で愛されていることが伝わった。

【片岡聡一 総社市長】代理書面／難波孝次 市政情報課長

私たちは、鉄道の新型車両へどうしても注目し、引退していく車両にはあまり目を向けることはありません。本番組を視聴することで、車両が国鉄から水島臨海鉄道へ車両が引き継がれて第二の人生を送っていたこと、引退後は再生されイベント用として第三の人生を送ること、それぞれの時代に関わってきた人の気持ちが伝わってきました。本番組は、引退した車両が復活するまでが特集されており、視聴者の記憶や思い出を甦らせ感動を与えられるものになっていると感じました。

【井上正義 倉敷市教育委員会教育長】代理書面／教育企画総務課

視聴させていただいた水島臨海鉄道に関する内容は、自らも乗車したり、走る電車を見かけたりしている身近なものであり、市民として興味をもって視聴することができました。昭和35年製「キハ205」の修復・再生は、鉄道会社、修理を担った板金塗装業者、クラウドファンディングへの支援者、地域の人々などに共通の思いとなり、生まれ変わった車両がこれからの未来にもつながっていくという物語性は、映像を見る者を引き込むのに十分な魅力的なものでした。また、男性のナレーションが独特で、方言を含んだような口語体の語り口に親しみがもてました。

今後も地域に結びついた話題について積極的に取り上げていただき、倉敷市民全体が各地域の産業や特色について理解を深め、倉敷市の未来について相互に語り合い、よりよいまちづくりが推進されていくことを期待しています。

【山根一人 玉野商工会議所会頭】代理書面／高島和成 指導課長

地域での取組がよくわかる番組だと思った。

水島臨海鉄道の取組としては車両を残そうと、クラウドファンディングでこの車両を残すかどうか決めてもらう取組をしたところ、たくさんの応募があり車両への思いがわかったこと。

板金塗装業者は車両を年輪のように塗り重ねていくうちに、いろんな思いが重なっているのを感じたこと。

整備士は65年たったエンジンを諦めずにみんなのまだ動いてほしいという思いを受け、頑張って修理をしたこと。

子供のファンは「何とも言えない、新型車両では出せないような国鉄独特の感じが好き」と、岡山弁で想いを伝えてくれたこと。

私も昔聞いたことがあるアイドリングの時のカランカランカランというエンジンの音がすごく懐かしいと感じた。

今回の貴重な車両を残す取組にかかわった人や来場者、車両からも人間味が伝わってきた。人としての豊かな感情や思いやりが伝わってきた。

倉敷ケーブルテレビ様には今後も地域で取り組むまちづくりを全面的に支援していただきたい。

◆2023（R5）年度 番組編成について 意見・感想

【伊東香織 倉敷市長】代理／安藤俊晴 暮らしき情報発信課課長

今年度の実績を見てYouTube等を使うなど新しいカタチにチャレンジしている。

子どもサミットも参加できない子供などもYouTubeで視聴することができた。

コロナが終息しても配信、収録は続くと思うが引き続きよろしく願いいたします。

【井上峰一 倉敷商工会議所会頭】代理／坂本万明 専務理事

日々のニュースを通じて他のメディアと差別化を図り、公平、公正な地域メディアとして存在感を高めてください。

【清水 男 総社商工会議所会頭】

倉敷市では過去、自然災害により大勢の市民の命が奪われた。南海トラフ巨大地震が予測される時、今一度自然災害に対する備えについて啓発してはどうか。

A. 【放送制作部部长 堀川久志】

放送制作部内でワーキンググループをつくり、常日頃から災害報道訓練は実施している。南海トラフに向けた取り組みはしていないが、減災に向け地域メディアとして安心安全な報道に努めていく。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 倉敷ケーブルテレビホームページ

公表の内容 審議内容抜粋

公表年月日 令和5年4月1日（土）～